

日本語



ユーザーガイド

FLkey 49/61

FLKEY

目次

はじめに	4
主な特徴	5
同梱物	5
トラブルシューティング	5
使用を開始する	6
FLkey をコンピュータに接続する	6
イーリースタート	6
FLkey をアップデートする	7
FLkey 49/61 各部の名称と特徴	8
FL Studio との連携	11
インストール	11
手動による設定	11
トランスポートコントロール	12
プリセットのナビゲーション	13
外部機器との接続	14
FLkey の MIDI 出力を外部 MIDI 機器の MIDI 入力に接続	14
サステイン入力	14
ノブモード	15
ノブモード：バンクの切り替え	15
ノブモード：Plugin	16
ノブモード：Mixer Volume	16
ノブモード：Mixer Pan	17
ノブモード：Channel Volume	17
ノブモード：Channel Pan	17
ノブモード：Custom	18
パッドモード	19
パッドモード：Channel Rack	19
パッドモード：Instrument	21
パッドモード：Sequencer	22
Scale Chord モード	24
ユーザコードモード	25
Custom パッドモード	27
パターンパッドモード	28
フェーダーモード	30
フェーダーのバンク切り替え	31
フェーダーモード：Plugin	31

フェーダーモード : Mixer Volume	32
フェーダーモード : Channel Volume	33
フェーダーモード : Custom	34
フェーダーボタン	35
フェーダーのピックアップ機能	37
Quantise	37
Metronome	37
Undo/Redo	38
Score Log	38
Channel Rack の選択項目の確認	38
ループ録音	39
FL Studio ウィンドウのフォーカス表示	40
スタンドアローン機能	41
ナビゲーションモード - ([...] ボタン)	41
スケールモード	42
Octave ボタン	43
Fixed Chord	43
ノートリピート	44
ノートリピートを使用する	44
レートを変更する	44
テンポを設定する	45
ノート/ドラムヒットのベロシティを変更する	45
ポットピックアップ	45
カスタムモードおよび Components	46
カスタムモード	46
カスタムノブモード	46
FLkey 設定	47
Vegas Mode	47
イージースタート	48
重量および寸法	49
その他の情報	50
トラブルシューティング	50
商標	50
免責事項	50
著作権および法定通知	50

はじめに

FLkey は、FL Studio で音楽制作をするための MIDI キーボードです。FL Studio の主要な機能のハンズオンコントロールと最高品質の鍵盤を備え、快適に音楽制作が行えます。

本ユーザーガイドでは、FLkey を使用するために必要なすべての情報を学ぶことができます。FL Studio でのデバイス設定やスクリプト機能のセットアップ方法のほか、スタンドアローン機能の活用方法なども網羅されており、FLkey を使用して音楽制作をできるだけ早く簡単にスタートできるようサポートします。

FLkey では FL Studio とのこれまで以上に密接なインテグレーションが実現されており、気持ち良く音楽制作に集中できます。フルサイズの MIDI キーボードでより自然な音楽制作を楽しめ、FL Studio のステップシーケンサーと連動するパッドを使えばビートをすばやく構築でき、4 つのパッドモードでリアルなリズムの作成が可能です。さらには、グリッドに完璧にマッチしたビートを簡単に作成できるノートリピートや、Channel Rack や FPC を直接演奏したり、Slicex や Fruity Slicer のスライスをトリガーするなどの機能性も活用できます。

FLkey では、コンピューターの画面を見ることなく、FL Studio の Mixer と Channel Rack を直感的にコントロールできます。8 つのノブとトランスポートボタンを用いて、音作りやミックス、オートメーションを簡単に行え、スコアログへのアクセスや、アンドゥ/リドゥ、クオンタイズ、メトロノームのオン/オフもすばやく実行できます。さらには、Image Line プラグインのプリセットを本体の画面でブラウズし、マウスを使わずにインストゥルメントやサウンドを素早く切り替えることも可能です。

スケールモードなどのツールを使用すれば、音を外すことなく演奏ができ、クリエイティブなフローを失ってしまうことはありません。また様々なコードを指 1 本で演奏できる 3 つのコードモード (Fixed、User、Scale) では、豊かなハーモニーや新しいサウンドを簡単に作り出すことができます。

そして、FLkey には高品質なインストゥルメントやエフェクトプラグインが多数バンドルされており、これらのプラグインを FL Studio で使用して、好きな時に好きな場所で思い通りの音楽制作を楽しむことができます。

主な特徴

- **FL Studio 専用のシームレスな連携** : FL Studio の主要な機能に素早くアクセスでき、簡単に音楽制作を行えます。
- **Mixer、Channel Rack、プラグインのコントロール** : ポリウムやパンの調整、Image-Line プラグインのコントロール、8つのロータリーノブによるオートメーションを用いた自然なサウンド作成が可能です。
- **ステップシーケンサー** : FL Studio のステップシーケンサーをコントロールし、簡単にドラムを打ち込むことができます。
- **Channel Rack の演奏** : パッドで Channel Rack を直接演奏できます。
- **インストゥルメントのコントロール** : FPC や Slicex をパッドでトリガーし、表現力豊かなビートやメロディを作成できます。
- **スケールモード** : 音を外すことなく演奏ができます。
- **クリエイティブなコードモード** : 3つのコードモード (Fixed、User、Scale) を使う事で、カスタムコードの割り当てやスケールの構成音によるコード演奏、コード進行の保存などが可能となり、楽曲のアレンジやパフォーマンスを指1本ですばやく簡単に行えます。
- **ベロシティセンシティブキーボードおよび16のベロシティセンシティブRGBパッド**。
- **プリセットのブラウズ** : FLkey 49/61 の LCD 画面を見ながら、Image Line プラグインのお気に入りのプリセットに直接アクセスできます。
- **カスタムモード** : FLkey 49/61 のパッドやノブに操作を割り当て、ワークフローをカスタマイズできます。

同梱物

- FLkey 49/61
- USB Type-A - Type-B ケーブル (1.5メートル)
- 安全上の注意

トラブルシューティング

FLkey を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください :

novationmusic.com/get-started

FLkey に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です :

support.novationmusic.com

使用を開始する

FLkey をコンピュータに接続する

FLkey は、USB バスパワーで動作します。USB ケーブルでコンピュータに接続すると、本体の電源がオンになります。FLkey を Mac に接続すると、**キーボード設定アシスタント**が表示されることがあります。これは、ナビゲート機能を有効にするために、FLkey がコンピュータのキーボードデバイスとしての機能を備えているためです。キーボード設定アシスタントが表示された場合は、閉じてしまって構いません。

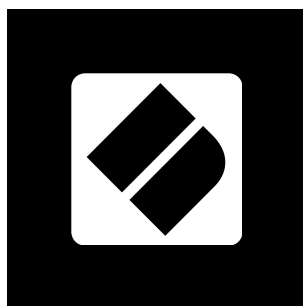


イージースタート

イージースタートは、FLkey を手順に沿ってセットアップできるオンラインツールであり、製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードなども行えます。

Windows または Mac に FLkey を接続すると、本体が USB ドライブのような大容量記憶装置 (MSD) としてマウントされます。ドライブを開き、「FLkey - Getting Started.html」をダブルクリックします。「Get Started」をクリックすると、イージースタートがウェブブラウザで開かれます。

画面の指示に従い必要なソフトウェアをインストールし、FLkey を使用する準備を行います。



イージースタートツールを使用せずに、Novation ウェブサイトで FLkey の製品登録やバンドルソフトウェアのダウンロードを行うことも可能です。

customer.novationmusic.com/register

FLkey をアップデートする

FLkey のファームウェアは、Novation Components でアップデートできます。ファームウェアバージョンの確認とアップデートは、以下の手順で行います：

1. components.novationmusic.com にアクセスします。
2. **FLkey** をクリックします。
3. ページ上部の **Updates** タブをクリックします。
4. 画面の指示に従いファームウェアのバージョン確認を行います。アップデートが必要な場合は、アップデート方法が表示されます。

FLkey 49/61 各部の名称と特徴



1. LCD ディスプレイ - 機器のステータスやパラメーター値を表示したり、メニューのナビゲーションを行う画面です。
2. **Shift & Settings** ボタン - Shift ボタンは、フロントパネルに記載されている二次的なシフト機能を有効にします。Settings ボタンを押すと、LCD 画面に設定メニューが表示されます。
3. **Page** ◀ ▶ ボタン - Channel Rack のシーケンスパターンの拡張、FPC のバンク切り替え、Slicex/Fruity Slicer のページ切り替えに使用します。Scale Chord モードのボーシングページの変更、User/Custom Chord モードのトランスポーズ、インストゥルメントモードのパッドオクターブの調整にも使用可能です。
4. **Fixed Chord** ボタン - キーボード上に演奏するコードを保存します。**Fixed Chord [43]** ボタンを押しながら鍵盤を弾くと、その鍵盤が固定コードとして登録されます。
5. ... ボタン (ナビゲーションモード) - 「...」 ボタンを押すと FLkey がナビゲーションモードに切り替わり、サンプルやプリセットをブラウズできます。
6. **Octave +/-** ボタン - キーボードを 10 オクターブの範囲 (C-2 ~ C6) で上下にトランスポーズします。両方のボタンを同時に押すと、トランスポーズの値が 0 にリセットされます。「**Octave ボタン [43]**」参照。
7. ピッチホイール (Pitch) - 演奏中のノートのピッチを変化させます。
8. モジュレーションホイール (Modulation) - ソフトウェア/ハードウェアのパラメータにモジュレーションを適用します。
9. **Note Repeat** ボタン - パッドを押すと、キーボードの Shift 機能で設定したレートで、ノートが連続的にトリガーされます。「**ノートリピート [44]**」参照。
10. パッド - Channel Rack モードでは試聴およびチャンネル選択に使用します。インストゥルメントモードでは、FPC、Slicex、Fruity Slicer の操作に使用します。シーケンサーモードではピ



ートのシーケンスを作成できます。Scale モードおよび User Chord モード、Custom モードでは、コードをトリガーできます。

11. **Mixer** ◀ ▶ ボタン - FL Studio Mixer の選択項目を左右に切り替えます。
12. フェーダー 1~8 および **Master** - 各モードで様々なパラメーターをコントロールします。9 番目のフェーダーは DAW のメインボリュームをコントロールします (HUI を除く)。
13. **Quantise** - FL Studio のクオンタイズ [37] 機能を実行し、グリッドにノートをスナップ (吸着) させます。
14. **Metronome** - FL Studio のメトロノームまたはクリックトラックのオン/オフを切り替えます。
15. **Undo** - FL Studio のアンドゥ機能を実行します。
16. **Redo** - FL Studio のリドゥ機能を実行します。



17. **Scale** ボタン - FLkey のスケールモード [42] のオン/オフを切り替えます。
18. **Preset** ▲ ▼ ボタン - FL Studio 純正プラグインのプリセットを切り替えます。
19. ノブ - FL Studio 純正プラグインのプリセットにマッピングされているパラメータや、Mixer/ Channel Rack のボリューム/パン、カスタムモードをコントロールするためのノブです。
20. **Channel Rack** ▲ ▼ ボタン - すべてのモードで Channel Rack を上下に切り替え、選択中の (または FLkey で演奏中の) インストゥルメントを変更します。
21. **Fader Mode** ボタン - 各モードで様々なパラメーターをコントロールします。
22. **Solo** ボタン - FL Studio でのフェーダーボタンの機能を切り替えます。
23. 再生、停止、録音 - FL Studio のトランスポートをコントロールします。
24. **Score Log** - 直前の 5 分間に FL Studio に入力された MIDI ノートを記録します。



- 25. **Sustain** – サステインペダル用の 6.35mm ジャック入力
- 26.  - USB タイプ B ポート
- 27. **MIDI Out** – [外部 MIDI 機器 \[14\]](#)接続用 5 ピン MIDI コネクタ
- 28.  - ケンジントンロックポート – FLkey を固定しセキュリティ対策を施します。

FL Studio との連携

FLkey は FL Studio とシームレスに連携するように設計されており、FL Studio による音楽制作とパフォーマンスを強力にサポートします。また [カスタムモード \[46\]](#) を使う事で、ワークフローに合わせて FLkey を好みにカスタマイズすることもできます。

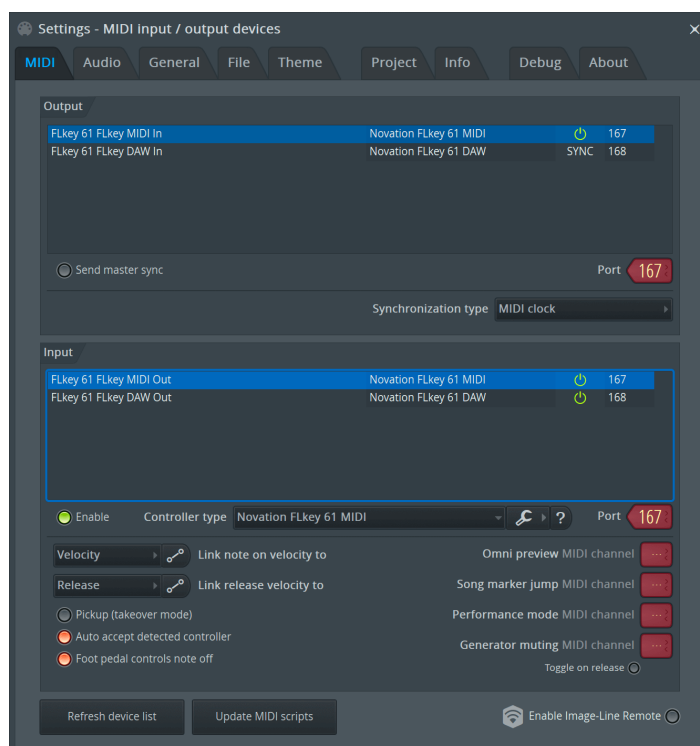
インストール

FLkey を使用する前に、ファームウェアが最新版であることをご確認ください。アップデートの手順は、ページ「[FLkey をアップデートする \[7\]](#)」をご参照ください。

FLkey は、FL Studio バージョン 21.0.3 以降に対応しています。FLkey をコンピュータに接続した状態で FL Studio を開くと、FLkey が自動的に検出され、FL Studio の MIDI 設定にセットアップされます。

手動による設定

FL Studio の MIDI **Settings** ウィンドウ (Options > Settings > MIDI) を開き、以下のスクリーンショットと同様に設定されていることを確認します。MIDI 設定は、次ページの手順に従い手動で行うこともできます。



手動による設定方法

1. MIDI Settings 画面下部の「**Input**」パネルにある FLkey MIDI および FLkey DAW の入力ポートを有効にします。
 - FLkey MIDI Out
 - FLkey DAW Out (Windows では MIDIIN2 と表示)
2. 各項目をクリックし、下部の「**Port**」アイコンでそれぞれ異なるポート番号を設定します。
 - ポート番号は、未使用の任意の番号を使用できます (0 以外)。
 - MIDI ポートと DAW ポートで異なるポート番号を設定してください。
3. 各項目を選択し、スクリプトを割り当てます。
 - MIDI input をクリックし、「**Controller type**」ドロップダウンメニューから「Novation FLkey MIDI」を選択します。
 - DAW input をクリックし、「**Controller type**」ドロップダウンメニューから「Novation FLkey DAW」を選択します。
4. MIDI Settings 画面上部の「**Output**」パネルにある出力ポートをクリックし、「**Port**」番号を入力と一致するように設定します。
 - FLkey MIDI In
 - FLkey DAW In (Windows では MIDIOUT2 と表示)
 - 手順 3 で選択したスクリプトが自動的にリンクされます。
5. DAW 出力 (上部パネル) を選択し、「**Send master sync**」を有効にします。
6. 画面下部にある「**Pickup (takeover mode)**」を有効にします。
7. 画面左下にある「Refresh device list」をクリックします。

トランスポートコントロール



- 再生▶ボタンは、FL Studio の再生ボタンと同様に機能します。再生の一時停止と続行の操作も可能です。
- 停止■ボタンは、再生の停止および再生位置のリセットを行います。
- 録音●ボタンは、FL Studio の録音ステータスを切り替えます。

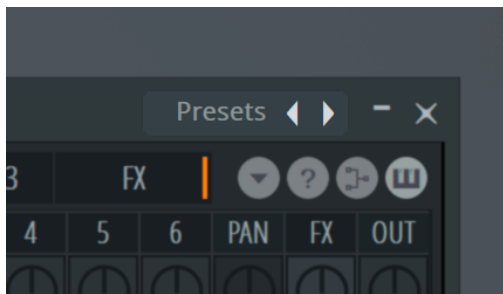
プリセットのナビゲーション

FLkey 本体でプリセットの切り替えが可能です。インストゥルメントやプラグインを選択し、Preset ▲ または Preset ▼ ボタンを押すことで、次/前のプリセットを選択できます。鍵盤/パッドを押すとプリセットを試聴できます。

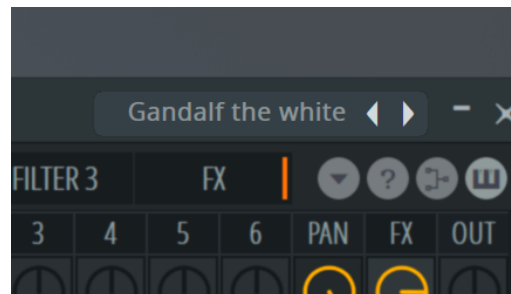


[プリセット▲] ボタンと [プリセット ▼] ボタンは、クリックした場合と同じ操作を行います。

Presets ◀ ▶ FL Studio プラグイン GUI で:



デフォルトのプリセット



[プリセット ▶] ボタンをクリックした後



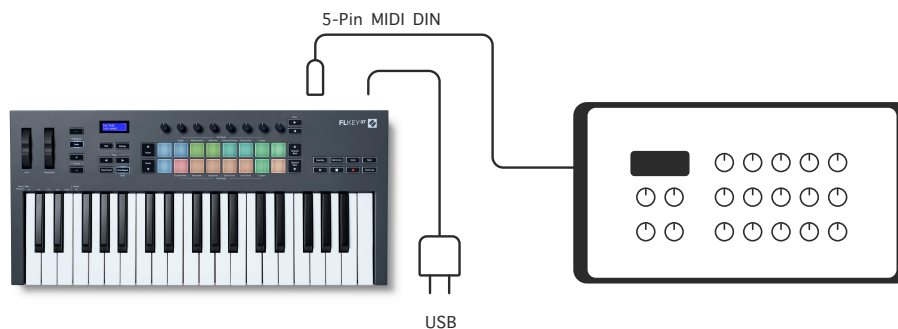
注記

サードパーティのプラグインを使用している場合、そのプラグインのストックプリセットを参照することはできません。ただし、FL Studio とサードパーティ プラグインの両方に保存したプリセットを参照することはできます。

外部機器との接続

FLkey の MIDI 出力を外部 MIDI 機器の MIDI 入力に接続

コンピューターを使わずに FLkey の 5 ピン DIN ソケットから MIDI 信号を出力するには、標準の USB 電源 (5V DC、最小 500mA) で本体に電源を供給してください。



サステイン入力

TS ジャック入力で標準的なサステインペダルを接続できます。プラグインによっては、サステインペダル用の設定がされていません。その場合には、プラグイン内で適切なパラメータをサステインペダルに割り当てる必要があります。

FLkey のサステイン入力は、ペダルの極性を自動的に検出します。ソステヌートペダル、ソフトペダル、ボリュームペダルには対応しません。

ノブモード

FLkey は 8 つのノブを備え、モードに応じて FL Studio の様々なパラメータをコントロールできます。

ノブモードを有効にするには：

1. Shift ボタンを長押し (または 2 度押し) すると、パッドが点灯しシフトモードが有効になります。ノブモードは、上段のパッド (Pot Mode) で選択します。各パッド上部のテキストラベルは、選択できるノブモードを示しています。
2. 使用したいノブモードのパッドを押すと、ノブモードが有効になります。利用可能なノブモードは、以下の表の通りです。



FL Studio の MIDI Settings 画面で「Pickup (takeover mode)」を有効にすると、ノブの値とパラメータの現在値が一致するまで値が変更されなくなります。

ノブモード	内容
Plugin	<p>選択中のプラグイン内の 8 つのパラメータをコントロールします。</p> <p>ノブを動かすと、パラメータ名とパラメータ値が LCD 画面に一時的に表示されます。</p>
Mixer Volume	ミキサーのフェーダーが 8 つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。
Mixer Pan	ミキサーのパンニングが 8 チャンネル毎にグループ (バンク) 分けされ、各ノブに割り当てられます。
Channel Volume	チャンネルのボリュームが 8 つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。
Channel Pan	チャンネルのパンニングが 8 つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。
Custom	任意のパラメータを 8 つのノブに割り当てることができます。

ノブモード：バンクの切り替え

Mixer または Channel の Volume/Pan ノブモードでは、ミキサートラックやチャンネルのバンクを切り替えることができます。Channel Rack パッドモード使用時、8 つずつの Channel Rack グループ毎にバンクが切り替わります。その他すべてのパッドモードでは、一度に 1 トラックまたは 1 チャンネルずつバンクが切り替わります。

- Mixer Volume モードおよび Mixer Pan モードでは、「Mixer」ラベル下部の◀または▶ボタンを押すと、選択中のトラックが前後に切り替わります。FL Studio の画面上では、ノブでコントロールできるバンクが赤く選択されます。

- Channel Volume モードおよび Channel Pan モードでは、「Channel Rack」▼または▲ボタンを押すと、選択中のバンクが前後に切り替わります。FL Studio の画面上では、ノブでコントロールできるバンクが赤く選択されます。

ノブモード : Plugin

Plugin モードでは、FLkey のノブで選択中のプラグインの 8 つのパラメータをコントロールできます。ほとんどの FL Studio 純正プラグインは、FLkey のノブモードに対応しています。



注記

FL Studio 純正プラグインのパラメータマッピングは変更できません。サードパーティー製プラグインでは、カスタムノブモードを使う事でマッピングを自由に作成できます。

ノブモード : Mixer Volume

Mixer Volume モードを使うと、FLkey の 8 つのノブで FL Studio のミキサーフェーダーを操作できます。ミキサートラックのボリュームは、8 つずつにグループ化され、ページを切り替えることで目的のトラックにアクセスできます。



ノブモード : Mixer Pan

Mixer Pan モードを使うと、FLkey の 8 つのノブで FL Studio ミキサーのパンニングを変更できます。Mixer チャンネルのパンニングは、8 つずつにグループ化され、ページを切り替えることで目的のトラックにアクセスできます。



ノブモード : Channel Volume

Channel Volume モードを使うと、FLkey の 8 つのノブでチャンネルボリュームをコントロールできます。チャンネルボリュームは 8 チャンネル毎にグループ分けされます。



ノブモード : Channel Pan

Channel Pan モードを使うと FLkey の 8 つのノブでチャンネルのパンをコントロールできます。チャンネルパンは 8 チャンネル毎にグループ分けされます。



ノブモード : Custom

任意のパラメータをノブに割り当て、最大 8 つのパラメータを同時にコントロールできるモードです。カスタムモードでノブやフェーダーボタンにより送信されるメッセージは、Novation Components で変更できます。

<http://components.novationmusic.com>



FL Studio のパラメータを FLkey のノブにマッピングするには :

1. FL Studio で目的のパラメータを右クリックします。
2. 2 つのリモートコントロールモードから、いずれかのモードを選択します (以下参照) 。
3. ノブを動かすと、そのノブにパラメータが割り当てられます。

選択できるリモートコントロールモード :

- Link to controller - パラメータが FL Studio で選択されているかに関わらず、パラメータとノブが一対一でリンクされます。このリンクはプロジェクト単位で有効となります。
- Override global link - FL Studio の「per-project-link」機能を有効にしない限り、すべてのプロジェクトでリンクが有効になります。FL Studio で選択されている画面内のパラメータがコントロールされるため、1 つのノブで複数のパラメータをコントロールできるのが特徴です。

パッドモード

FLkey は 16 個のパッドを備え、モードに応じて FL Studio の様々な要素をコントロールできます。

パッドモードを有効にするには：

1. Shift ボタンを長押し (または 2 度押し) すると、パッドが点灯しシフトモードが有効になります。パッドモードは下段のパッドで選択します。各パッド下部のテキストラベルは、選択できるパッドモードを示しています。
2. 使用したいモードのパッドを押すと、パッドモードが有効になります。利用可能なパッドモードは、以下の表の通りです。



モード	内容
Pattern	FLkey のパッドを用いて FL Studio 内で新たなパターンを追加/選択できる機能です。
Channel Rack	Channel Rack の試聴およびチャンネルの選択を行います。
Instrument	選択中のインストゥルメントをコントロールします。FPC、Slicex、Fruity Slicer など一部のインストゥルメントは、独自のレイアウトで表示されます。
シーケンサー	シーケンサーのステップを作成/編集できます。グラフエディター全体の編集も可能です。
スケールコード	設定したルートとスケールで、あらかじめ定義されたコードを演奏できます。
ユーザーコード	最大 16 のコードを登録/トリガーできます。
Custom	任意のパラメータを 16 のパッドに割り当てることができます。

パッドモード : Channel Rack

Channel Rack パッドモードを使うと、最大 16 チャンネルの Channel Rack を同時に演奏できます。それぞれのパッドが各チャンネルの Channel Rack に相当し、パッドを押すことで C5 のノートがトリガーされます。各パッドは、割り当てられたチャンネルの色に点灯します。

パッドを押すと、FL Studio で該当するチャンネルが選択され、オーディオがトリガーされます。選択中の Channel Rack に相当するパッドは白く点灯し、LCD 画面にチャンネル名が一時的に表示されます。FLkey では、一度に 1 つのチャンネルを選択可能です。FL Studio でチャンネルが選択されていない場合、パッドは白く点灯しません。

パッドのレイアウトは 8x2 行で、左から右、下段から上段の順に並んでいます。下段のパッドのチャンネルは Channel Rack のパン/ボリュームノブのレイアウトに対応します。



パッドモード : Channel Rack のバンク切り替え

Channel Rack ▼ または Channel Rack ▲ ボタンを押すと、Channel Rack が 8 つずつのグループ単位で切り替わります。Channel Rack の矢印ボタンは、その方向にバンクを切り替えられる場合に点灯します。この操作で選択中のチャンネルが切り替わることはありません。

Channel Rack ▼ / Channel Rack ▲ ボタンを長押しすると、Channel Rack を自動スクロールできます。

パッドモード : Channel Rack グループ

Channel Rack パッドのレイアウトは、FL Studio 内の Channel Rack グループに追従して変化します。FL Studio の Channel Rack ウィンドウ上部にあるドロップダウンメニューで Channel Rack グループを切り替えると、それに応じてパッドのレイアウトが変更されます。

パッドモード : Instrument

Channel Rack プラグインを FLkey からコントロールできるモードです。インストゥルメントモードを有効にするには、Shift ボタンを押しながら FLkey の「Instrument」ラベル上部のパッドを押します。以下のインストゥルメントレイアウトが利用でき、パッドで MIDI ノートを入力できます。

- FPC パッド
- Slicex
- Fruity Slicer
- デフォルトのインストゥルメントレイアウト

デフォルトでは、パッド全体がクロマチック鍵盤のレイアウトとなります (下図参照)。Instrument モード使用時にスケールモードを有効にすると、選択したスケールに含まれる 2 オクターブ内の 8 つの MIDI ノートが、パッドから出力されます。

Preset ▲ または Preset ▼ ボタンを押すと、インストゥルメントのプリセットを切り替えられます。



FPC

Instrument モード時に Channel Rack に FPC プラグインを追加すると、FPC ドラムパッドを FLkey から演奏できます。FPC プラグインチャンネルを選択中 :

- 左側の 4 x 2 のパッドで、FPC パッドの下半分をコントロールします。
- 右側の 4 x 2 のパッドで、FPC パッドの上半分をコントロールします。

FPC モードでは、パッドの色がチャンネルの色ではなく、FPC 独自の色に点灯します。

Slicex

Instrument モード時に Channel Rack に Slicex プラグインを追加すると、Slicex のスライス FLkey のパッドでトリガーできます。

Page ◀ または **Page ▶** ボタンで 16 スライス毎にページを切り替えることができ、それらをパッドでトリガーできます。

Fruity Slicer

Instrument モード時に Channel Rack に Fruity Slicer プラグインを追加すると、Fruity Slicer のスライスを FLkey のパッドでトリガーできます。

Page ◀ または **Page ▶** ボタンで 16 スライス毎にページを切り替えることができ、それらをパッドでトリガーできます。

デフォルトのインストゥルメントレイアウト

その他のプラグインを Channel Rack に追加する、またはプラグインが何も追加されていない場合のレイアウトです。

デフォルトでは、パッドはクロマチック鍵盤のレイアウトとなり、C5 (MIDI ノート 84) が左下角のパッドに割り当てられます。この設定は FLkey の Scale モードで変更できます。

Page ◀ ボタンでオクターブが下がり、**Page ▶** ボタンでオクターブが上がります。明るく点灯する左上角/右下角のパッドは、常にルートノート (デフォルトは C) となります。Scale モード時は、選択したスケールと一致するようにパッドのレイアウトが変更され、左下角のパッドがルートノートになります。

パッドモード : Sequencer

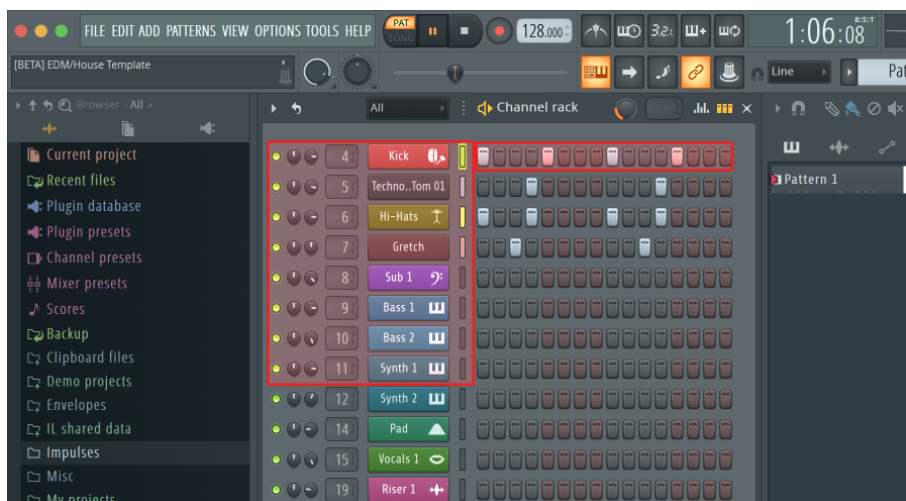
Sequencer モードを使うと、FL Studio の Channel Rack 内のシーケンサーグリッドを FLkey でコントロールでき、選択中のインストゥルメントやパターン内のステップを追加/変更可能です。Sequencer モードを有効にするには、**Shift** ボタンを押し続けるか、2 度押ししてから **Sequencer** ボタンを押します。上段のパッドがステップ 1~8、下段がステップ 9~16 となります。

Sequencer モードを有効にすると、パッドが選択中の Channel Rack トラックのステップを表示します。アクティブなステップはトラックの色に明るく点灯し、非アクティブなステップは同じ色で薄く点灯します。パッドを押すことで、ステップのオン/オフを切り替えられます。

Channel Rack ▲ および **Channel Rack ▼** ボタンを押すと、インストゥルメントを切り替えることができます。パッドは、編集中的シーケンサーチャンネルの色で点灯します。

以下の図とスクリーンショットは、FL Studio の「Kick」チャンネルのシーケンサーで 4 つのステップがオンに設定され、それに応じて FLkey のパッドが点灯している様子を示しています。





トランスポート再生中は、再生位置のステップ (上図のステップ 6) が白く点灯します。シーケンサーを一時停止すると、停止時のステップ位置でパッドが白く点灯を続けます。トランスポートを停止した場合は、停止位置のパッドは消灯します。

Page ラベル下部の **Page** ◀および▶ボタンを押すと、前/次の 16 ステップのグループに選択が切り替わります。FL Studio の Channel Rack 画面内に一時的に赤い枠が表示され、選択されたステップが示されます。

Channel Rack グラフエディター

Sequencer モードでは、ノブ 1~8 を用いてステップのパラメータを変更できます。グラフエディターの 8 つのパラメータが、左から右の順に各ノブに割り当てられます (詳細は下の表を参照)。ノブモードは、最後に選択されたモードが有効になります。グラフエディターを有効にするには、変更したいステップを長押しします。Channel Rack グラフエディターモードの詳細は、下の表の通りです。

ノブを変更すると、FL Studio でグラフエディターが表示されます。たとえばステップのノート値を変更すると、それに応じてグラフエディターウィンドウのノート値が変更されます。

ラッチエディット

シーケンサーステップのパラメータを編集できる機能です。ラッチエディットモードを有効にするには、目的のステップを 1 秒以上長押しします。パッドがグラフエディターのパラメータの色に点灯し、ラッチエディットモードが有効になったことを示します。これでステップから手を離してもモードが解除されることなく、ノブを動かしてステップのパラメータを変更できます。

任意のステップを押すことでラッチモードのステップを追加/削除でき、あらゆるパラメータ変更を選択中のすべてのステップに反映できます。

Channel Rack ▼ボタンを押すと、ラッチエディットモードを解除できます。

クイックエディット

ステップを押さえてから 1 秒以内にノブを動かすと、クイック編集モードが有効になります。ステップパッドを押した状態でいずれかのノブを回すことで、グラフエディター内のパラメータをコントロール可能です。パラメータの変更は、押されているすべてのステップに反映されます。

ノブを動かしている間は FL Studio 上でグラフエディターが表示され、ステップから手を離すとグラフエディターが閉じられます。

クイック編集モードを解除するには、押されているすべてのステップから手を離します。

複数のパラメータを編集するには、ステップパッドを押したまま目的のノブを操作します。

ノブ	グラフエディターのパラメータ
ノブ 1	Note Pitch
ノブ 2	Velocity
ノブ 3	Release Velocity
ノブ 4	Fine Pitch
ノブ 5	パンニング
ノブ 6	Mod X
ノブ 7	Mod Y
ノブ 8	Shift

Scale Chord モード

あらかじめ定義されたコードを演奏できるモードです。コードのバンクにアクセスするには、Shift ボタンを押しながら Scale Chord パッド (5 番目のパッド) を押します。パッドの各行にコードのバンクが割り当てられます。デフォルトのルートキーは C マイナーとなっています。ルートキーを変更する方法は、ページ「[Scale モード \[42\]](#)」の章をご参照ください。



各行の両端のパッドが明るく点灯し、ルートコードの位置を示します。Page ◀ ▶ ボタンを押すと、コードのページが切り替わります。このモードでは、以下のコードが 3 ページにわたり定義されています：トライアド、7th、9th、6/9th

LCD 画面表示

ページ 1 (上図)	上段：トライアド (水色) 下段：7th (紺色)
ページ 2	上段：7th (紺色) 下段：9th (紫)
ページ 3 (下図)	上段：9th (紫) 下段：6/9th (ピンク)



パッドを押すと緑色に点灯し、手を離すと元の色に戻ります。コードのオクターブを変更するには、Shift ボタンを押しながら **Page ◀ ▶** ボタンを押します。±3 オクターブの範囲で変更可能です。

Shift ボタンと Scale ボタンを同時に押すと、ピンク色に点灯したパッドでスケールを選択できます。このとき鍵盤上でキーを押さえることで、定義されたコードのスケールとルートキーが変更されます。

ユーザコードモード

最大 6 和音のコードを各パッドに割り当てられるモードです。登録したコードは FLkey の内蔵メモリに保存されるため、電源をオフにしても消えることはなく、再度オンにされた後でも利用可能となります。

User Chord モードにアクセスするには、**Shift** ボタンを押しながら **User Chord** パッド (6 番目のパッド) を押します。

パッドにコードを割り当てるには、User Chord パッドを押さえたまま登録したいノートを鍵盤で押さえます。各パッドには、最大 6 音を登録できます。このとき、すべての構成音を同時に押さえる必要はありません。

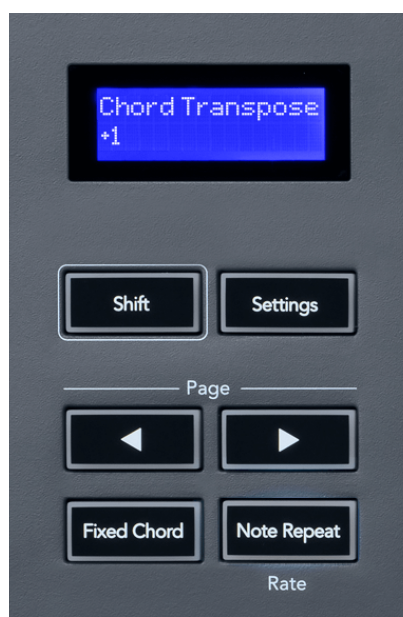
コードが割り当てられると、パッドが青く点灯します。パッドを押すとコードが演奏され、緑に点灯します。コードが割り当てられていないパッドは点灯しません。下図では 4 つのパッドが青色に点灯し、コードが割り当てられていることを示されています。



コードの割り当てを解除するには、**Preset ▼** ボタンを長押しします。コードが割り当てられているパッドが赤色に点灯します。取り消したいパッドを押すとコードの割り当てが解除され、パッドが消灯します。



Page ◀ ▶ ボタンを押すと、半音ずつ±12 の範囲でトランスポーズすることができます。LCD 画面に変更値が表示されます。



Custom パッドモード

任意のパラメータをパッドに割り当て、自由にコントロールできるモードです。パッドにより送信されるメッセージは、[Novation Components](#) で設定できます。

パターンパッドモード

FLkey のパッドを用いて FL Studio 内で新たなパターンを追加/選択できる機能です。

パターンモードを有効にするには、Shift ボタンを押しながら Patterns pad を押します。



パッドが FL Studio 内の対応するパターンの色に点灯します。選択中のパターンのパッドは白く点灯します。パターンの色を割り当てるには、FL Studio で目的のパターンを右クリックし、Rename and color...または Random color を選択します。





パッドを押すと、パターンが選択されます。Sequencer パッドモード [22] でパターンを編集することなどが可能です。

新規パターンを追加するには、**Shift** ボタンを押しながら New Pattern (Preset ▲パッド) を押します。

パターンを複製するには、複製したいパターンを選択した状態で **Shift** ボタンを押しながら Clone Pattern (Preset ▼パッド) を押します。



注記

空のパターンを編集する前に別のパターンを選択すると、空のパターンは消去されます (FL Studio 内での動作と同様)。

Channel Rack ▲▼ボタンを押すことで、パッドに表示されるパターンを切り替えることができます。8つのパターンが含まれるバンク毎に表示が切り替わります。

パターングループ

FL Studio では、パターンをグループ化できます。複数のパターンをグループ化することで、目的のパターンのみをフィルター表示できます。FLkey のパッドは、FL Studio で選択中のパターングループに応じて、グループに含まれるパターンのみを表示します。

フェーダーモード

FLkey は 9 つのフェーダーを備え、モードに応じて FL Studio の様々な要素をコントロールできます。

デフォルトでは、Mixer Volume が選択されています。他のフェーダーモードには以下の手順でアクセスできます：

1. Shift ボタンを押します。
2. 目的のフェーダーモードボタンを押します。



上図の例では **Plugin フェーダーモード** が選択されているため、**Plugin ノブモード** がオレンジ色に点灯し、このノブモードが同時に選択できないことを示しています。

モード	内容
Mixer Volume	ミキサーのフェーダーが 8 つずつにグループ (バンク) 分けされ、ノブに割り当てられます。9 番目のフェーダーは、FL Studio のマスタートラックのコントロールに使用されます。
Channel Volume	チャンネルのボリュームが 8 つずつにグループ (バンク) 分けされ、フェーダーに割り当てられます。9 番目のフェーダーは、FL Studio のマスタートラックのコントロールに使用されます。
Plugin	<p>選択中のプラグイン内の 8 つのパラメータをコントロールします。</p> <p>ノブを動かすと、パラメータ名とパラメータ値が LCD 画面に一時的に表示されます。</p> <p>9 番目のフェーダーおよびフェーダーボタンは、Plugin モードでは機能しません。</p>
Custom	任意のパラメータを 8 つのフェーダーに割り当てることができます。



注記

ノブとフェーダーに対して同時にモードを割り当てることはできません。ノブにモードが割り当てられている場合、Shift ボタンを長押しするとフェーダーボタンはオレンジ色に点灯します。このときフェーダーボタンを押してもフェーダーにモードを割り当てることはできません。

フェーダーのバンク切り替え

Mixer または Channel Volume のフェーダーモードでは、ミキサートラックとチャンネルのバンクを切り替えることができます。

- Mixer Volume モードでは、「Mixer」ラベル下部の◀または▶ボタンを押すことで、前/次の 8 トラックに選択が切り替わります。FL Studio の画面上では、ノブでコントロールできるバンクが赤く選択されます。
- Channel Volume モードでは、「Channel Rack」の▼または▲ボタンを押すことで、前/次のトラックまたはバンクに選択が切り替わります。FL Studio の画面上では、ノブでコントロールできるバンクが赤く選択されます。

フェーダーモード : Plugin

Plugin モードでは、FLkey のフェーダーで選択中のプラグインの 8 つのパラメータをコントロールできます。ほとんどの FL Studio 純正プラグインは、FLkey のフェーダーモードに対応しています。



フェーダーを動かすと、FLkey 49/61 の LCD 画面にプラグインパラメータ名と現在の値が一時的に表示されます。



注記

FL Studio 純正プラグインのパラメータマッピングは変更できません。サードパーティー製プラグインでは、カスタムフェーダーモードを使う事でマッピングを自由に作成できます。

フェーダーモード : Mixer Volume

Mixer Volume モードでは、FLkey のフェーダーが FL Studio のミキサーフェーダーにマッピングされます。フェーダー 1~8 を用いて選択中のバンクに含まれるミキサートラックのボリュームをコントロールできます。



Mixer Volume モードを選択すると、FL Studio のミキサーウィンドウが前面に表示されます。



フェーダーモード : Channel Volume

Channel Volume モードでは、FLkey の 8 つのフェーダーでチャンネルボリュームをコントロールできます。チャンネルボリュームは 8 チャンネル毎にグループ分けされます。



Channel Volume モードを選択すると、FL Studio の Channel Rack ウィンドウが前面に表示されます。



フェーダーモード : Custom

任意のパラメータをフェーダーに割り当て、最大9つのパラメータを同時にコントロールできるモードです。フェーダーとフェーダーボタンにより送信されるメッセージは、[Novation Components](#) で変更できます。



FL Studio のパラメータを FLkey のフェーダーにマッピングするには :

1. FL Studio で目的のパラメータを右クリックします。
2. 2つのリモートコントロールモードから、いずれかのモードを選択します (以下参照)。
3. フェーダーを動かすと、そのフェーダーにパラメータが割り当てられます。

選択できるリモートコントロールモード :

- Link to controller - パラメータが FL Studio で選択されているかに関わらず、パラメータとノブが一対一でリンクされます。このリンクはプロジェクト単位で有効となります。
- Override global link - FL Studio の「per-project-link」機能を有効にしない限り、すべてのプロジェクトでリンクが有効になります。FL Studio で選択されている画面内のパラメータがコントロールされるため、1つのノブで複数のパラメータをコントロールできるのが特徴です。

フェーダーボタン

フェーダー下部のボタンを使うと、ミキサートラックやチャンネルのソロ/ミュートを切り替えることができます。

Channel Volume のフェーダーモードを選択中にフェーダーボタンを押すと、FL Studio のチャンネルをミュートまたはソロに設定できます。

Mixer Volume のフェーダーモードを選択中にフェーダーボタンを押すと、FL Studio のミキサートラックをミュートまたはソロに設定できます。



ミュートモード



Solo ボタンが点灯していない場合、フェーダーボタンは FL Studio のミュートボタンと同様に機能します。

- フェーダーボタンを押すと、トラック/チャンネルのミュートをオン/オフできます。
- 各フェーダーボタンは、対応するチャンネル/トラックの色に点灯します。ミュート中のボタンは消灯します。

ソロモード



Solo ボタンを押すと、ソロモードが有効になります。有効時には Solo ボタンが点灯し、フェーダーボタンは薄暗く点灯します。

- 薄暗く点灯するフェーダーボタンを押すと点灯が明るくなり、そのトラック/チャンネルがソロに設定されたことを示します (FL Studio でのミュートボタンの CTRL+右クリックと同等の動作)。
- その他のフェーダーボタンを続けて押すと、そのトラック/チャンネルのソロのオン/オフを切り替えることができます (FL Studio でのミュートボタンの左クリックと同等の動作)。ソロに設定されたトラック/チャンネルは明るく点灯します。
- 単一のトラック/チャンネルのみを再びソロにしたい場合は、Solo ボタンを押し、目的のトラック/チャンネルのフェーダーボタンを押します。
- いずれかのトラック/チャンネルがソロに設定されているとき Solo ボタンを 2 度押しすると、プロジェクト内のすべてのトラック/チャンネルのミュートが解除されます。

FL Studio では、一度に 1 トラックのみをソロにできます。あるトラックをソロに設定すると、その他すべてのトラックがミュートされます。薄暗く点灯するフェーダーボタンを押すと、ミュートされたトラックのミュートを解除できます。



注記

Solo ボタンを二度押してソロモードを解除すると、すべてのトラック/チャンネルのミュートが解除されます。FL Studio で設定を変更することで、ソロにする直前のミュート/ソロ状態に戻すことも可能です。

二度押しでソロにする直前のミュート/ソロ状態に戻るようには、FL Studio の「OPTIONS > General settings > Restore previous state after solo」を有効にします。

フェーダーのピックアップ機能

FL Studio に接続中、FLkey は「Pickup (takeover mode)」の設定に従って動作します。

フェーダーを動かすと、保存された値にフェーダー値が達したときに初めてパラメータが変更されます (パラメータ値のジャンプを防止する機能)。ピックアップ値に達するまでの間、LCD 画面には保存された値が表示され続けます。

Quantise



Quantise ボタンを押すと、FL Studio は「quick Quantise start times」機能を実行し、選択中の Channel Rack チャンネルのピアノロールに含まれるすべてのノートの開始位置を、ピアノロールで設定されているスナップ位置にクオンタイズします。

Metronome

FL Studio のメトロノームのオン/オフを切り替えます。

Undo/Redo



Undo および Redo ボタンを押すと、FL Studio のアンドウ/リドゥ機能が実行されます。FL Studio の「Alternate undo mode」設定は、これらのボタンの動作に影響しません。

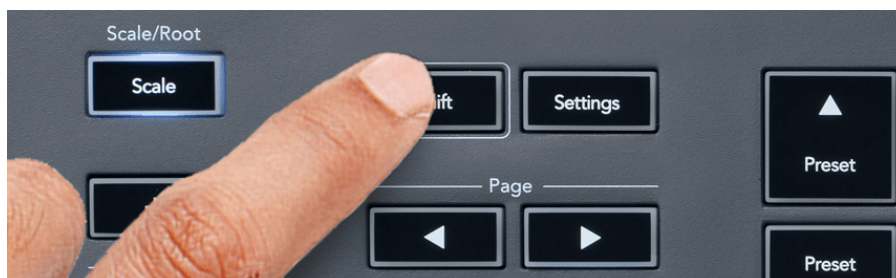
Score Log



Score Log ボタンを押すと、FL Studio が直前の 5 分間に受信したすべての MIDI ノートが選択中のパターンに挿入されます。パターン内に既にノートデータが存在する場合は、既存のノートを上書きするかを確認するメッセージが表示されます。

このボタンでは、FL Studio のメニュー「Tools > Dump Score Log to Selected Pattern」と同等の動作が実行されます。

Channel Rack の選択項目の確認



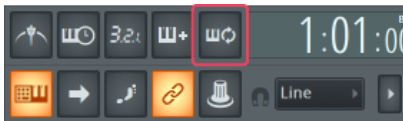
どのパッドレイアウトモード時でも、FL Studio で Channel Rack が表示されている状態で Shift ボタンを長押しすると、現在の選択項目が表示されます。チャンネルバンクの選択、Channel Rack でのノブコントロールやチャンネルが確認できます。Mixer Volume/Pan モード時は、選択中のミキサーバンクが表示されます。

ループ録音

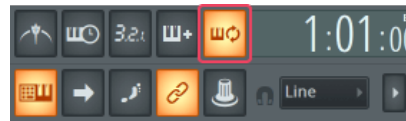
(初回起動時)

ループ録音のオン/オフは、FLkey では変更できません。ループ録音は、FLkey を FL Studio に最初に接続した際に有効になります。ループ再生がオンの場合、録音中の選択パターンは長さが延長されることなく常にループします。

ループ録音を無効にするには、FL Studio のツールバーにある Recording Loop アイコン (鍵盤と循環マーク) をクリックします。ループ録音を無効にすると、FLkey をコンピュータに接続し直してもループ録音設定は無効のままとなります。



ループ録音オフ



ループ録音オン

FL Studio ウィンドウのフォーカス表示

FLkey の操作の中には、操作に応じて FL Studio ウィンドウのフォーカスが変更されるものがあります。

以下の操作は、Channel Rack をフォーカスします：

FLkey 49/61FLkey 49/61

- パッドモード
 - Channel Rack
 - シーケンサー
- ノブモード
 - Channel Volume
 - Channel Pan
- シーケンサーのページを左右に切り替え
- Channel Rack でのチャンネル選択

以下の操作は、Mixer をフォーカスします：

- ノブモード
 - Mixer Volume
 - Mixer Pan
- Mixer Volume または Mixer Pan の変更
- ミキサーのバンク切り替え

以下の操作は、選択チャンネルのプラグインをフォーカスします：

- Plugin ノブモードでパラメータを変更

スタンドアロン機能

ナビゲーションモード - ([...] ボタン)

[...] ボタンを押すと FLkey がナビゲーションモードに切り替わり、サンプルやプリセットをブラウズできます。ナビゲーションモードを有効にすると、下図の様にパッドが点灯します。4 つのパッドがコンピュータのカーソルキーを模したレイアウトで上下左右に青く点灯します。

緑に点灯するパッドは、コンピュータの Enter キーと同様に機能します。青色のパッドはカーソルキーとして機能し、FL Studio 内のプリセットやサンプル、ソフトウェアプラグインのブラウズに使用できます。またこれらのパッドは、その他の場面でもコンピュータのカーソルキーおよび Enter キーと同様に使用することができます。

ナビゲーションキー (青色のパッド) でブラウザ上のサンプルを選択し、Enter キー (緑色のパッド) でサンプルを Channel Rack にロードすることができます。



スケールモード

鍵盤またはパッド (インストゥルメントモード時) を演奏する際、選択したスケールのノートだけが発音されるモードです。Scale ボタンを押すとボタンが点灯し、Scale モードが有効になります。

LCD 画面にはアクティブなスケール (デフォルトは C マイナー) が表示されます。

スケールは、Scale 設定で変更できます。Shift ボタンを押しながら Scale ボタンを押すと、Scale ボタンが点滅し、Scale 設定が有効になります。

ルート音を変更するには、ルートに設定したい鍵盤を押します (黒鍵はシャープ # で表記されます)。パッドでスケールの種類を選択します。以下の図は、Scale 設定モード時の様子です。



下段のパッドが点灯し、スケールの選択を行えます。LCD 画面に選択されたスケール名が表示されます。選択できるスケールは以下の通りです (パッドの左から右の順)。

1. マイナー
2. メジャー
3. ドリアン
4. ミクソリディアン
5. フリュギア
6. ハーモニックマイナー
7. マイナーペンタトニック
8. メジャーペンタトニック

スケール設定モードを解除するには、Scale ボタンまたはその他のボタンを押します。10 秒以上操作が行われないとスケール設定モードが自動的に解除され、直前の状態に戻ります。

Octave ボタン

Octave ボタンを押すと、鍵盤のオクターブが1つずつ増減します。FL Studio ではオクターブを C0〜C10 の範囲で変更でき（その他のソフトウェアでは C-2〜G8）、Shift ボタンを押さえたまま Octave ボタンを押すと、鍵盤を半音単位でトランスポーズできます。

オクターブを変更すると、LCD 画面に現在のオクターブ値が 5 秒間表示されます。現在のオクターブ範囲は Octave +/- ボタンの明るさで確認でき、ボタンが明るく点灯するほどオクターブが移動されていることを示します。

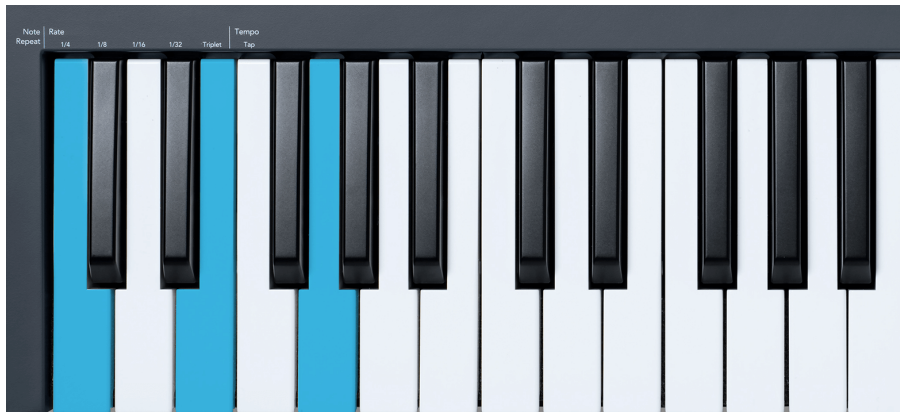
Octave の +/- ボタンを同時に押すと、オクターブがリセットされます。Shift ボタンを押しながら Octave の +/- ボタンを同時に押すと、トランスポーズがリセットされます。

Shift ボタンを押しながら Octave の + または - ボタンを押すと、鍵盤が半音単位でトランスポーズされます。このとき LCD 画面にトランスポーズ値が表示されます。

Fixed Chord

Fixed Chord (固定コード) モードを使うと、コードを指 1 本で演奏でき、他の鍵盤を押すことでコードのトランスポーズを簡単に行えます。コードを設定するには、Fixed Chord ボタンを押さえたまま、コードに追加したいノートの鍵盤で抑え、手を離します。これでコードが保存されます。

このとき FLkey は、コードの構成音の一番低いノートではなく、最初に入力されたノートをコードの「ルート音」として認識します。



たとえば、Fixed Chord ボタンを押しながら C、E、G の順に鍵盤を押し手を離します（C メジャーコード）。FLkey はこのコードを Fixed Chord (固定コード) として記録します。Fixed Chord ボタンから手を離すと設定が完了します。

これで、どの鍵盤を押してもメジャーコードが鳴るようになります。たとえば鍵盤で F を押すと F メジャーコード (下図参照) が演奏され、Ab を押せば Ab メジャーコードが演奏されます。



ノートリピート

Note Repeat は、パッドを押すことでノート (特にドラムヒットで有効) を連続的にトリガーできる機能です。設定されたテンポに同期した様々なレートで演奏できます。

FLkey を FL Studio に接続した場合、Note Repeat 機能は再生状態に関わらず常に DAW のテンポに追従します。デフォルトでは FL Studio のマスターシンク (MIDI Settings 画面) が有効であるため、Note Repeat は FL Studio のグリッドのタイミングでトリガーされます。マスターシンクを無効にすると、パッドを押したタイミングで Note Repeat のトリガーが開始されます。

ノートリピートを使用する

Note Repeat ボタンを押すと、パッドが Note Repeat モードに切り替わります。デフォルトでは FL Studio から FLkey に MIDI クロックが送信されるため、Note Repeat は FL Studio のテンポに追従します。いずれかのパッドを押すと、設定されたレートとテンポでトリガーが繰り返されます。

Sequencer モードでは、パッドがシーケンサーの動作に割り当てられるため、Note Repeat は機能しません。

レートを変更する

レートを変更するには、Shift ボタンを押しながら (またはダブルタップでラッチ)、Note Repeat ボタンを押して、Note Repeat 設定モードを有効にします。1/4、1/8、1/16、1/32、Triplet のテキストラベルが記載された鍵盤から、目的のレートの鍵盤を押します。Triplet は、選択中のレートを三連符でトリガーします。たとえば、レートが 1/8 のときに Triplet を有効にすると、レートは 1/8t となります。

Note Repeat ボタンを長押し、またはラッチした状態で、レートを変更しながらパッドを演奏することも可能です。Note Repeat 設定をオンにすると Note Repeat ボタンが点滅し、鍵盤でレートやタップテンポを設定できます。

テンポを設定する

Note Repeat 設定モードでは、「Tap Tempo」と記載された鍵盤を繰り返し押すことで、テンポを設定できます。FL Studio でマスターシンクが有効 (デフォルト設定) の場合は、LCD 画面に「Tempo External」と表示され、タップテンポで DAW のテンポを変更できます。このとき Note Repeat ボタンは、テンポと同期して点滅します。

ノート/ドラムヒットのベロシティを変更する

Note Repeat トリガーのベロシティは、パッドを押す力でコントロールできます。ベロシティの初期値は、最初にパッドを押した強さで決まります。パッドを押し続けながら、押す力を強めるとベロシティが大きくなり、弱めるとベロシティが小さくなります。

最初にパッドを押してから押す力を弱めた場合は、ベロシティは小さくならず初期値を維持します。押す力を強めてベロシティが初期値を超えた場合にのみ、ベロシティが変更されます。

ポットピックアップ

FL Studio に接続中、FLkey は「Pickup (takeover mode)」の設定に従って動作します。

スタンドアロンモードの場合は、設定メニューからこの機能を有効にできます。ノブのピックアップ機能を有効にすると、FLkey は各ページのノブの値を記録します。ノブを動かす際、ノブの値が保存された値に達するまで MIDI メッセージが送信されないため、パラメータ値の予期せぬジャンプを防止できる機能です。

ノブを回してから値が変更されない (ピックアップ値に達していない) 間は、LCD 画面に保存された値が表示されます。

カスタムモードおよび Components

カスタムモードは、各コントロールセクションを操作するための独自の MIDI テンプレートを作成できる機能です。テンプレートは Novation Components で作成し、FLkey に送信できます。Components を使用するには、WebMIDI 対応のブラウザ（Google Chrome、Opera または Firefox を推奨）で components.novationmusic.com にアクセスします。もしくは Novation のアカウントページから、Components のスタンドアロン版をダウンロードしてください。

カスタムモード

Novation Components で設定を行うと、FLkey のノブおよびパッドからカスタムメッセージを送信できます。これらのカスタムメッセージ設定は、カスタムモードと呼ばれます。カスタムモードは、Shift ボタンを押しながら Custom パッドを押すことで有効にできます。



カスタムノブモード

FLkey では、1つのカスタムノブモードを利用できます。カスタムノブモードにアクセスするには、Shift ボタンを押したままノブモードの Custom パッドを押します。Components を使用して、任意の CC 番号をノブに設定することができます。

何も設定しない場合、カスタムノブモードではデフォルト設定のメッセージが送信されます。FL Studio の「Multilink to Controllers」機能を用いて、FLkey のノブを FL Studio のパラメータに割り当てることも可能です。

FLkey 設定

Settings ボタンを押すと、LCD 画面に設定メニューが表示されます。Preset ▲▼ボタンで設定項目を切り替えることができます。設定値は、パッドまたは Page ◀▶ボタンで変更できます。設定可能な項目は以下の通りです。

設定	説明	値の範囲	初期設定
Keys MIDI Channel	鍵盤の MIDI チャンネルを設定します	1-16	1
Chords MIDI Channel	Scale コードおよび User コードの MIDI チャンネルを設定します	1-16	2
Drums MIDI Channel	ドラムモードの MIDI チャンネルを設定します	1-16	10
Velocity Curve (Keys)	鍵盤のベロシティカーブを選択します。	Soft / Normal / Hard / Off	Normal
Velocity Curve (Pads)	パッドのベロシティカーブを選択します。	Soft / Normal / Hard / Off	Normal
Pad Aftertouch	アフタータッチのタイプを設定します。	Off/Channel/ Polyphonic	Polyphonic
Pad AT Threshold	アフタータッチが有効化するスレッシュホールドを設定します。	Low/Normal/High	Normal
Pot Pick-Up	スタンドアローンモード時のノブピックアップ機能のオン/オフを設定します。この設定は、FL Studio には反映されません。	Off / On	Off
MIDI Clock Out	MIDI クロック出力のオン/オフを切り替えます。	Off / On	On
Brightness	パッドおよび LCD 画面の明るさを設定します。	1-16	9
Vegas Mode	ベガスモードのオン/オフを切り替えます。	Off / On	Off

Vegas Mode

FLkey を操作しない状態が 5 分間続くと、ベガスモードが有効になります。パッドの点灯がスクロールし、任意のパッドやボタン、鍵盤を押すまで継続されます。ベガスモードのオン/オフを切り替えるには：

1. **Settings** ページを開きます。
2. **Preset ▲▼** ボタンを押し、「Vegas Mode」を表示します。
3. **Page ◀▶** ボタンまたは最初の 2 つのパッドを押すと、LCD 画面に Vegas Mode のオン/オフが表示されます。

イージースタート

イージースタートモードから FLkey を削除する方法 :

1. 「**Octave +**」と「**Octave -**」ボタンを押しながら USB ケーブルを FLkey に接続すると、FLkey がブートルoaderモードで起動します。LCD 画面に「Easy Start: 」が表示され、イージースタートのオン/オフを確認できます。
2. Note Repeat ボタンを押すと、イージースタート設定のオン/オフを切り替えられます。
3. Mixer ◀ ボタンを押すと、メインファームウェアが読み込まれ、FLkey は通常通りに起動します。

重量および寸法

	FLkey 49	FLkey 61
重量	3.03 kg	3.43 kg
高さ	62mm (ノブキャップを含む場合、77mm)	62mm (ノブキャップを含む場合、77mm)
幅	789 mm	952 mm
奥行	258mm	258mm

その他の情報

トラブルシューティング

FLkey を使い始めるためのヘルプが必要な場合は、こちらをご参照ください：

novationmusic.com/get-started

FLkey に関して不明な点がある場合には、いつでもヘルプセンターをご利用いただけます。また、以下の URL からサポートチームにお問い合わせいただくことも可能です：

support.novationmusic.com

商標

Novation の商標は Focusrite Audio Engineering Ltd. の所有物です。本マニュアルに記載されているその他すべてのブランド名、製品名、会社名、およびその他の商標登録または商標は、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

Novation は、本マニュアルに記載されている情報が正確で完全であることに万全を期しております。本マニュアルまたは記載されている機器の使用に起因する機器、第三者または機器の所有者に対する損失または損害について、Novation はいかなる場合も責任を負いません。本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更される場合があります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

著作権および法定通知

Novation は、Focusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。FLkey は、Focusrite Audio Engineering Plc の商標です。2022 © Focusrite Audio Engineering Limited. 禁無断転載。



静電放電 (ESD) について

強力な静電放電 (ESD) が本製品の正常な動作に影響を及ぼす場合があります。その場合には、USB 接続を解除・再接続して再起動することで、正常な動作に戻ります。